

令和5年度事業計画（案）

自 令和5年4月 1日

至 令和6年3月31日

I. 基本方針

昨年度の国内経済動向は、資源価格高騰や円安によって物価が上昇し、新型コロナ鎮静時の個人消費の回復を妨げる要因となりコロナ前までの経済活動回復とはなりませんでした。今年度におきましても長引く原材料高や海外経済の減速傾向から景気の下振れリスクが高まる懸念はあるものの、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う新しい生活様式による新しい需要を生み出している状況もあることから、DXの推進等による労働生産性向上や業務内容の見直しによる潜在成長力の底上げを促すことが期待されます。

一方中小企業、小規模零細企業においては資源価格高騰による価格転嫁及び賃上げへの対応に苦慮している状況が推察されます。

このような経済局面の中、地域唯一の総合経済団体である本商工会は、国が定める「経営革新等支援機関」として、アフターコロナにおける事業展開、インボイス制度への対応等、中小企業及び小規模零細企業が日々困難を増しているなか、その課題解決に向けてDXの推進、事業の再構築、承継問題を含む事業継続力強化等、専門性の高い経営支援を行なう機関として取り組むことが求められています。

さらに産業・観光振興並びに地域交流を目的とした武豊町地域交流施設内のまちな駅「味の蔵たけとよ」運営に係る食品製造業者、小売業者の販路開拓を中心とした総合的支援体制強化に取り組むと同時に本町の代表的地場産業である「味噌」「たまり醤油」を全国、海外にも発信し、新しい地域資源を掘り起し「武豊らしさの創造」を目標に活動してまいります。

最後となりますが、地域経済団体として、武豊町との連携のなか今まで以上に地域からの存在意義の向上を目指して地域活性化のため、以下の事業を展開してまいります。